

高橋カーテンウォール工業株式会社

2016年度 決算説明資料

代表取締役社長：高橋 武治

2017年2月13日
1

2016年度連結決算概要

【単位:百万円】

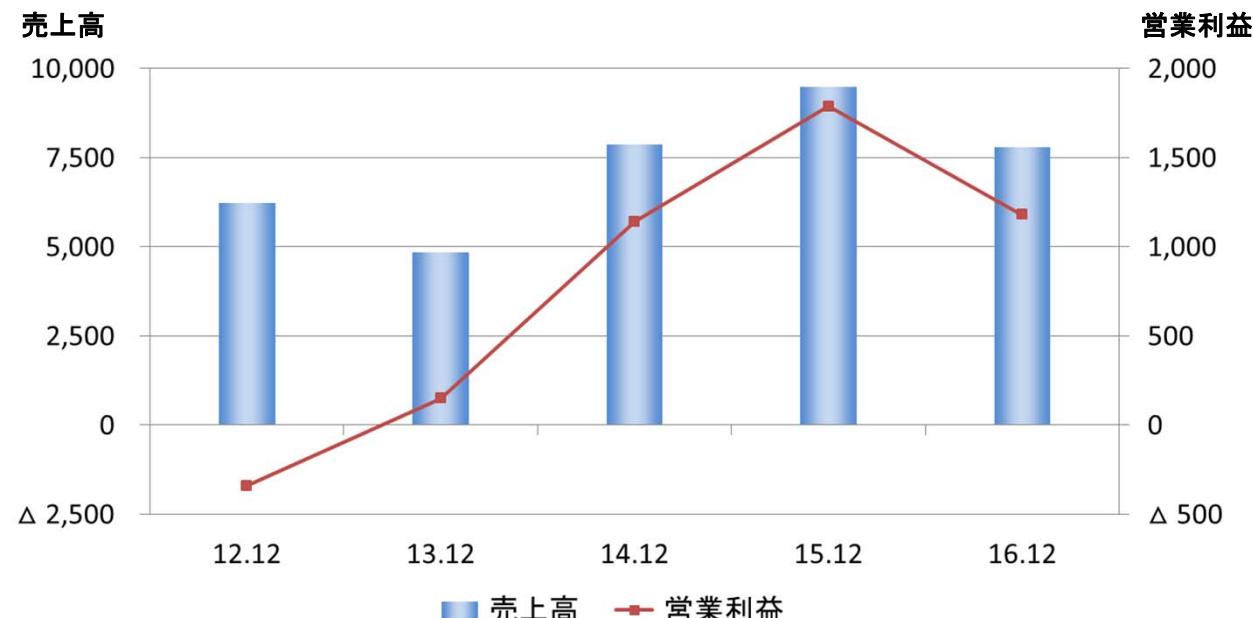
	2016年12月期 計画値	2016年12月期 決算	増減額
売上高	7,800	7,801	1
営業利益	1,150	1,180	30
経常利益	1,150	1,204	54
当期純利益	1,350	1,527	177

- ・ 計画値は、第3四半期に上方修正した数字
- ・ 税効果会計による法人税調整等により当期純利益が計画比177百万円増加

連結決算概要(売上高・営業利益推移)

【単位:百万円】

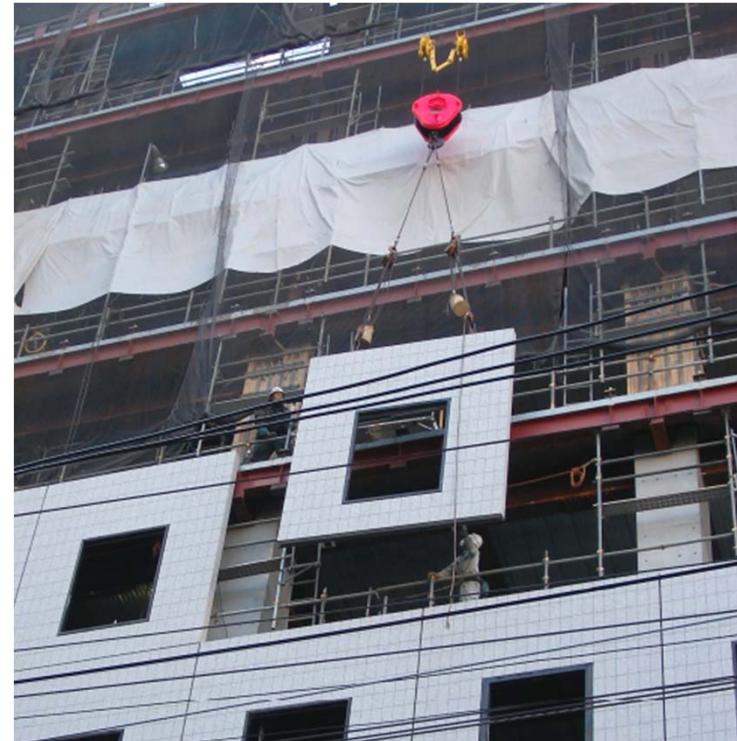
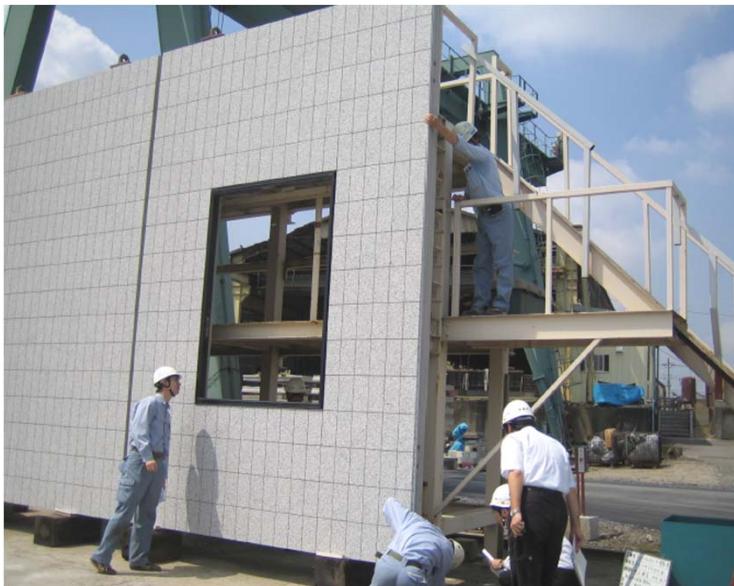
	12年12月期 決算	13年12月期 決算	14年12月期 決算	15年12月期 決算	16年12月期 決算
売上高	6,228	4,840	7,861	9,476	7,801
営業利益	△ 341	150	1,141	1,787	1,180
経常利益	△ 353	164	1,134	1,791	1,204
当期純利益	△ 384	183	930	1,736	1,527



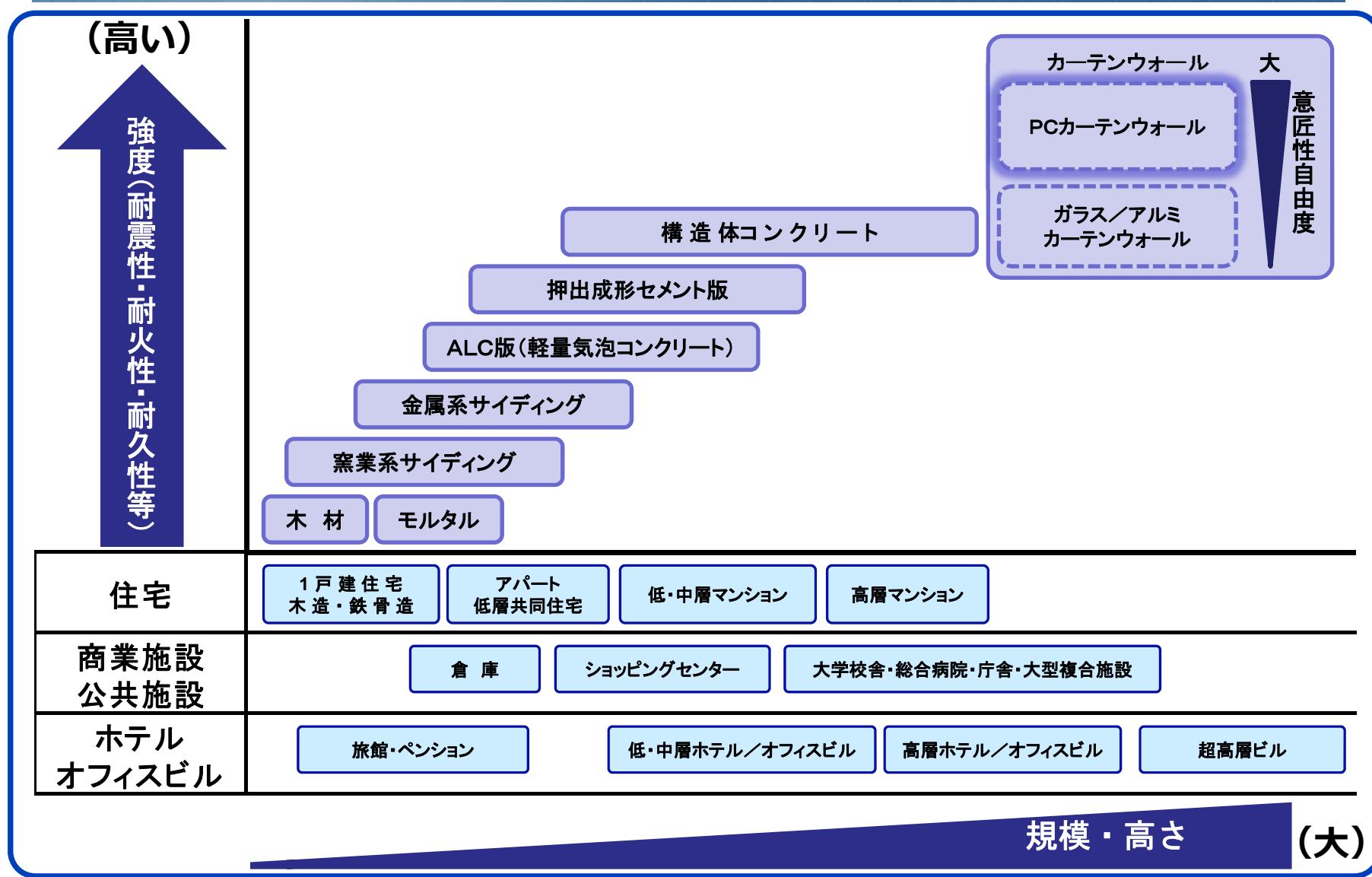
PCカーテンウォール紹介

「PCカーテンウォール工法とは」

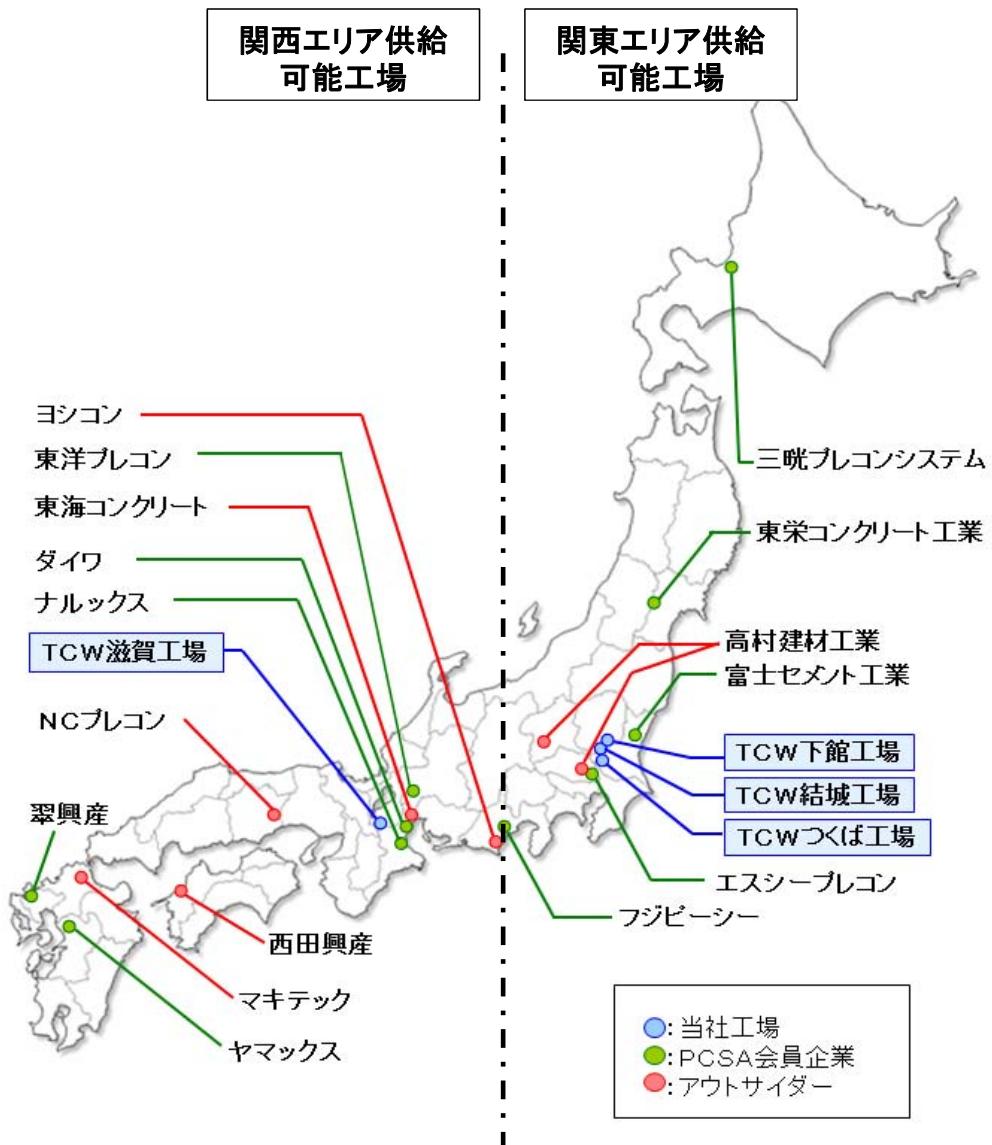
- ・パネル状のビル外壁を工場で生産し、建設現場の作業効率を上げる工法。
- ・高層ビルをはじめ、大規模ビルの標準的な工法として定着。



様々な外壁製品



PC生産拠点の分布(カーテンウォール事業)



カーテンウォールは
1枚あたり数 t と重いため、
一般的に物件近くの工場に
発注される。

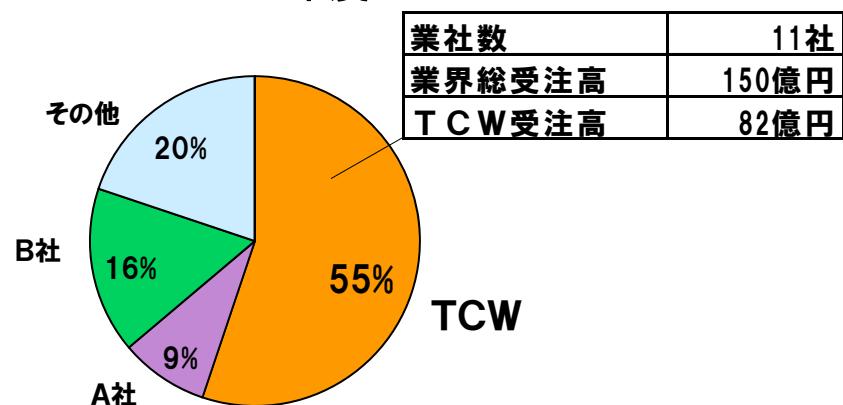
【関東と関西の比較 (2016年度)】

	関東メーカー	関西メーカー
市場規模(受注額)※	90 億	45 億
主要競合社数	2 社	8 社

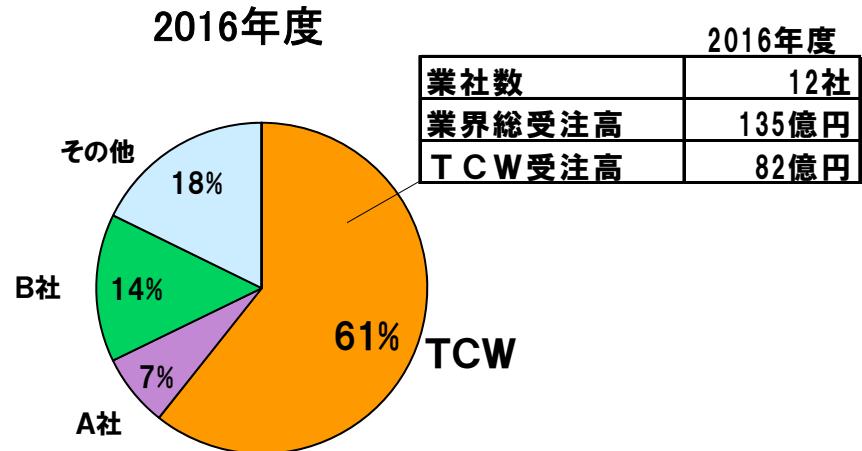
※ PCSA協会マーケティング部会及び当社ヒアリング数字

TCW全国マーケットシェア(2015-2016年度)

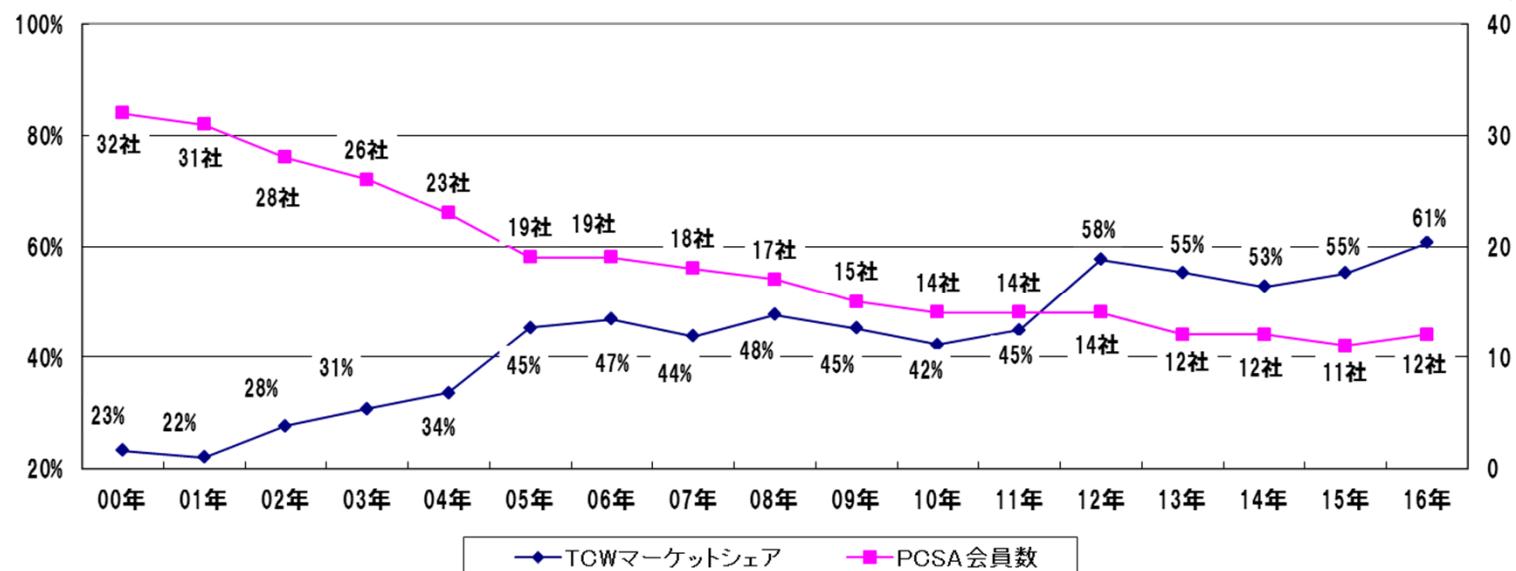
2015年度



2016年度



マーケットシェア

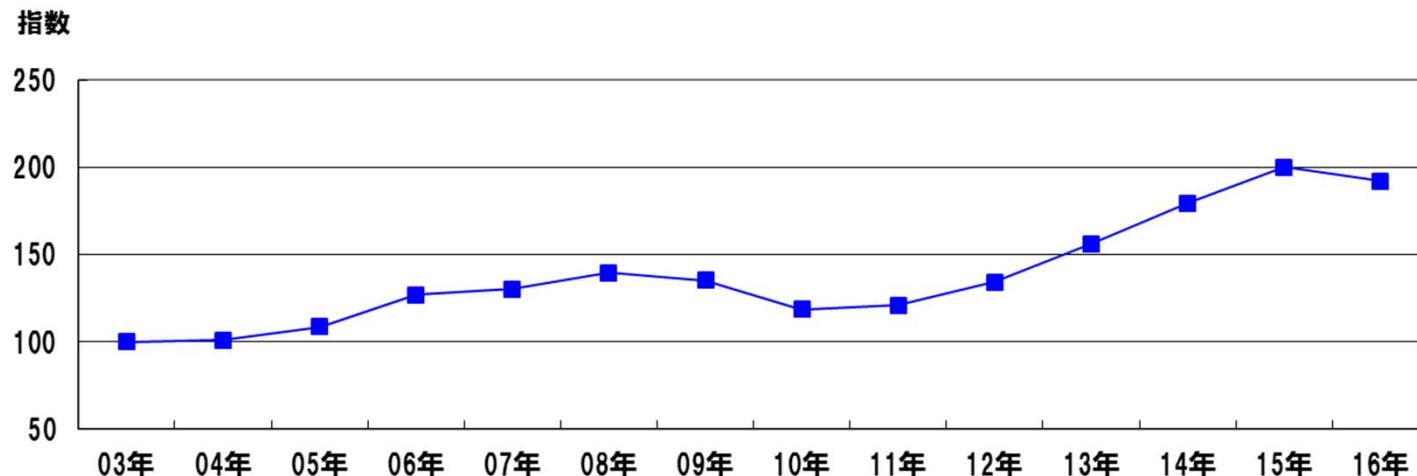


16

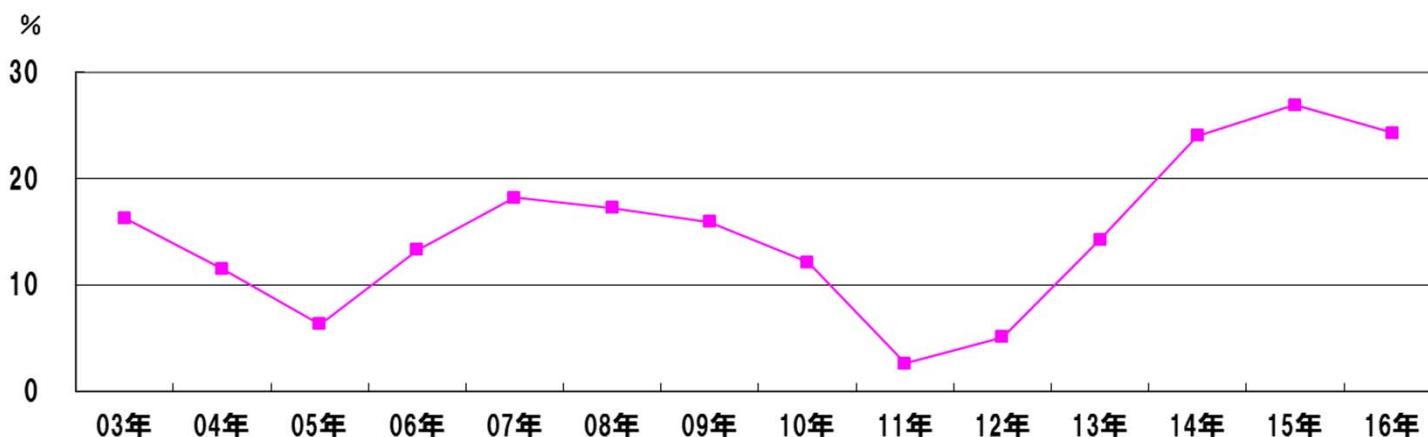
※ PCSAマーケティング部会集計値(但し、2015年度は一部ヒアリング数字を含む)

TCW 受注単価・売上粗利率推移

【受注単価推移】



【売上粗利率推移】



注:受注から売上計上まで1~2年程度の期間を要する 17

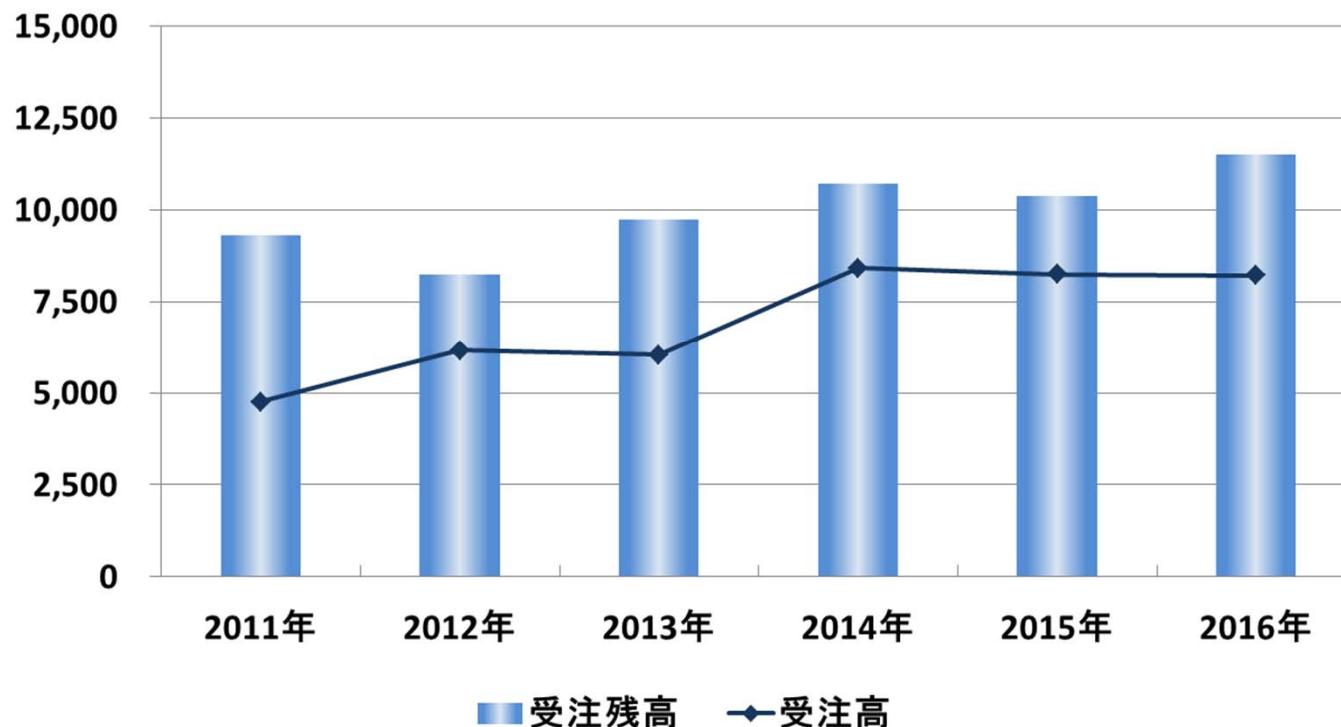
当社の戦略 PC事業の更なる強化

1. 適正受注単価の維持と生産の効率化により、品質・収益を更に向上させる。
2. 受け身の営業から提案営業へ。
(施主・設計事務所にPRしてPCカーテンウォールの市場を拡大する。)
3. 新商品の開発・新分野への進出。

PC事業受注及び受注残高推移

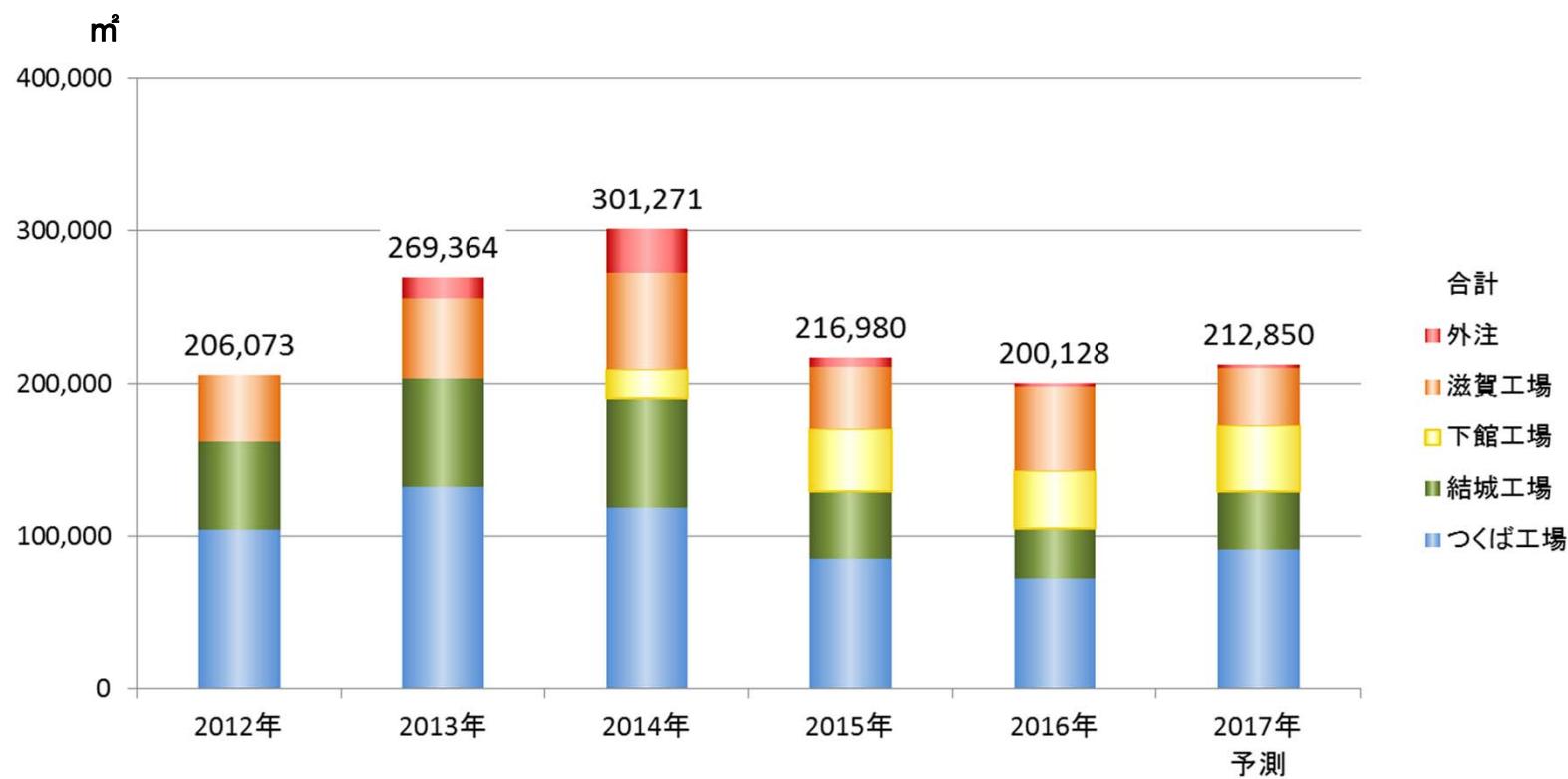
- ・受注は堅調に推移
- ・2016年末は過去5年間で最高の受注残高
- ・長期プロジェクト割合増加により、売上は一部2018年以降になる見込み

【単位:百万円】



工場別生産量推移

- 受注残高は高水準だが、長期プロジェクト増加のため2017年工場生産量は微増にとどまる
- 2017年度末より生産増加の見込み



高付加価値商品(アーキコン)

アーキコンとは

自然石の風合いをコンクリートで表現したPCカーテンウォール

●特徴

PCパネル表面にタイルや石材などを打ち込むのではなく、表面に加工を施して自然石の風合いを再現できる。

表面加工一例



研ぎ出し

研磨機でコンクリート表面を平滑に研磨し、骨材などを露出させる手法。

サンドblast

砂を圧縮空気と混合し、高速度でコンクリート表面に吹付け る仕上げ。



高付加価値商品(アーキコン)の代表的な施工事例



グランフロント大阪
南館・北館
(大阪市北区)



ザ・ペニンシュラ東京
(千代田区)

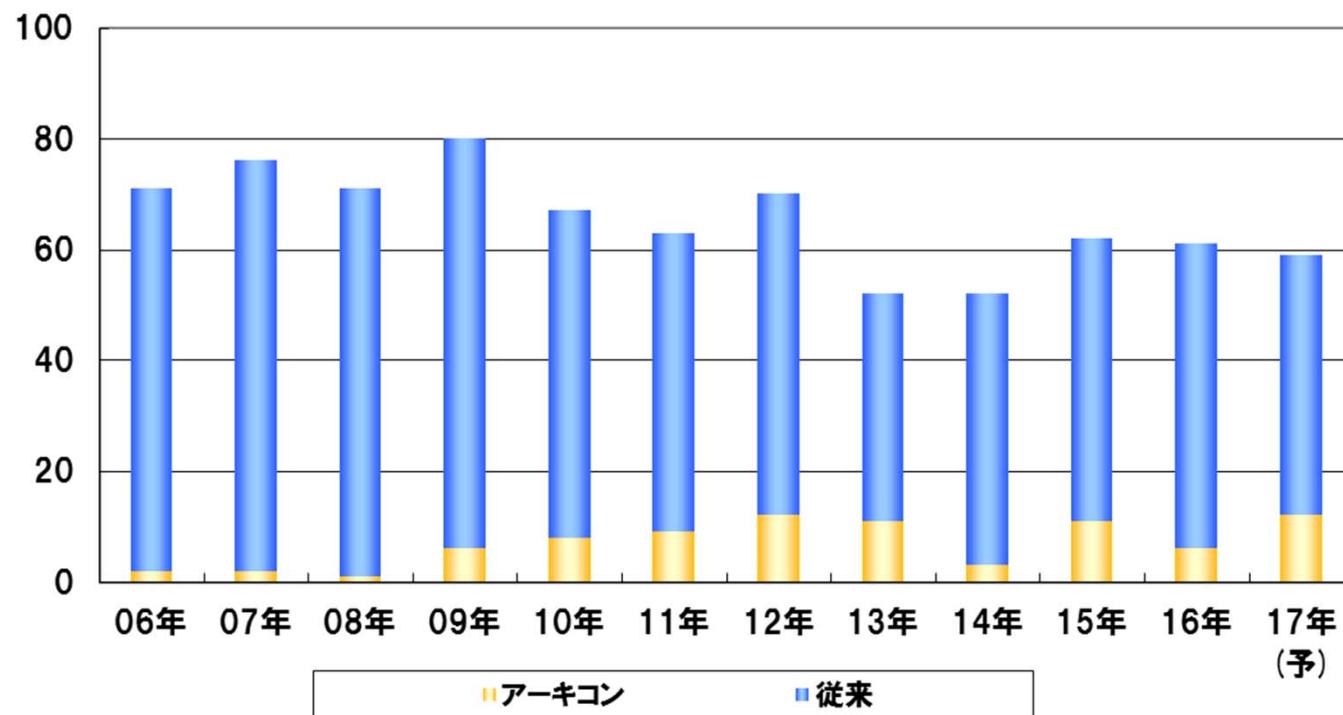


二子玉川rise
(世田谷区)

高付加価値商品(アーキコン)案件数推移(完工工事基準)

コンクリート系外装の中で一定の地位を確立している。

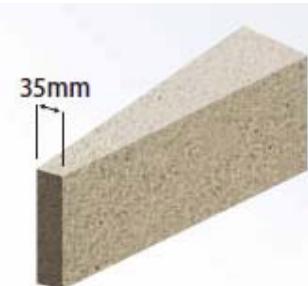
売上案件数



次なる技術を追求

セメント系材料(フェロクリート)でより薄い日よけをつくる技術を開発

一般的なコンクリートでは不可能だった薄さを実現



→ 3.5cmの薄さの製品をつくることが可能。日よけに利用することでエコ、デザイン、質感、全ての面を満たす、画期的な商品。積極的なPRで需要を喚起する予定。



フェロクリート内部に埋め込まれた金網がひび割れを防止しているので、薄くても丈夫な製品がつくれる。



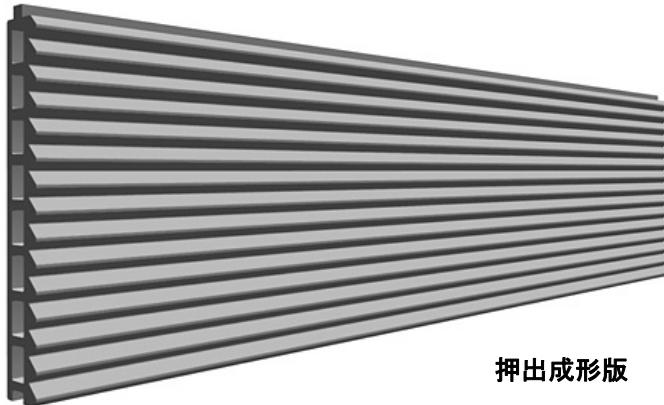
次なる技術を追求

更なる新商品を開発中。近々発表予定

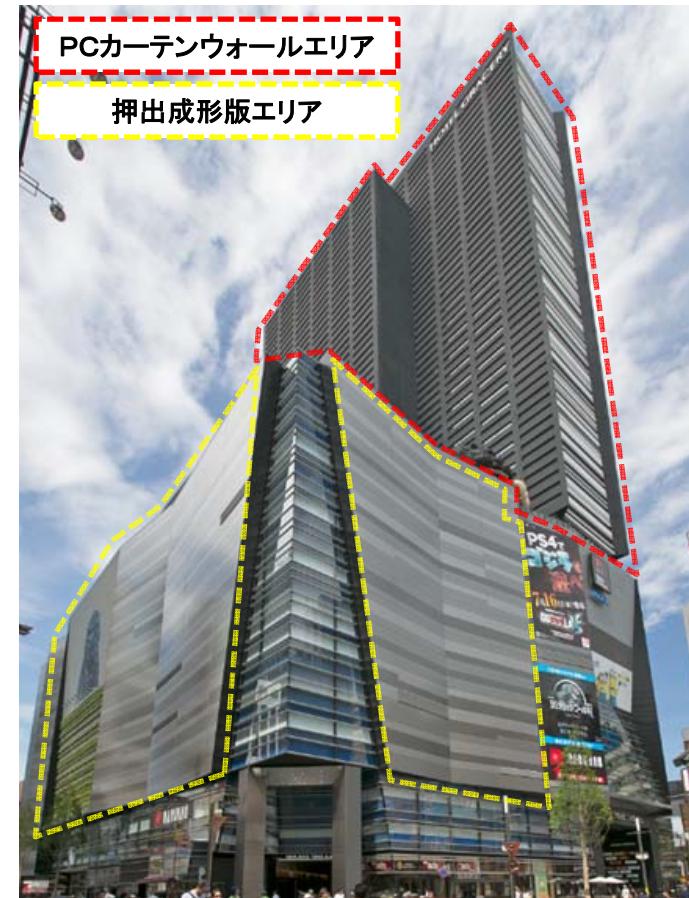


押出成形版対抗商品

【参考】

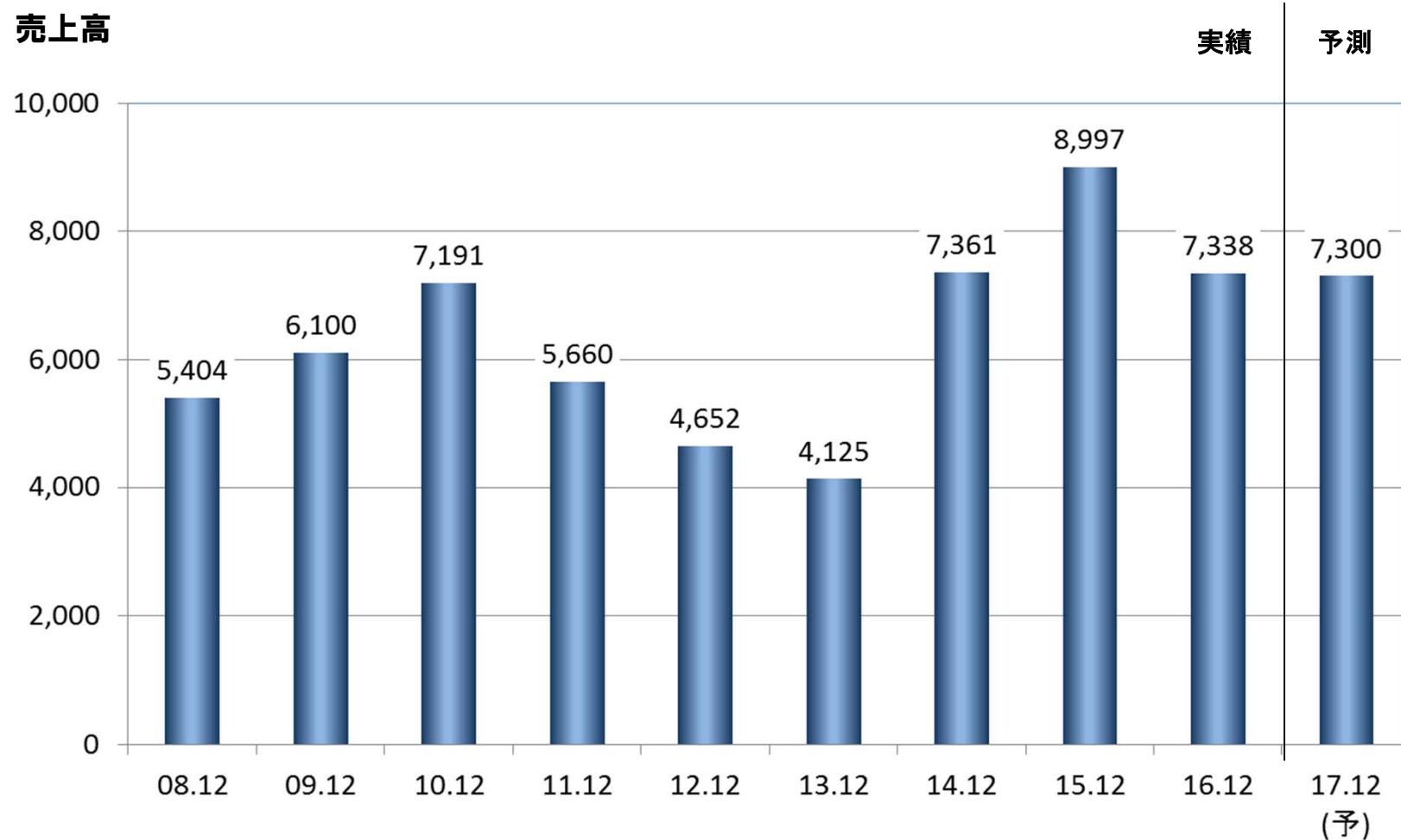


押出成形版



PC事業売上高推移(完工工事基準)

単位:百万円



アクア事業

水を活かした空間のコンセプト及び全体計画を提案し、
設計から施工・監理までをトータルに実施。

商品内容



可動床・可動階段



救助・訓練用施設



競技用プール

可動床プールの紹介

ボタンひとつでプールの床面を昇降させ利用目的に適した水深に変えることが可能。

可動床面を分割したり、水深0mまで上昇させ床面に人工芝を敷くことにより、多目的な陸上スペースとして使用することも可能。



星野学園

小学生から高校生までの利用者に対応した可動床システムを採用

場所 埼玉県川越市

仕様 ステンレス・タイル仕上げ、
可動床システム

救助・訓練用プールの紹介

震災後から訓練用プールなどのニーズが高まっている。

水難救助・潜水訓練・燃焼実験棟・水害救助訓練・転落救助訓練など、
様々な施設を提案する。

京都市消防活動総合センター



潜水訓練プール
仕様 水深10メートル円形プール



河川救助訓練プール
仕様 水流発生型25メートルプール

施工事例



富山県広域消防防災センター

場所 富山県

仕様 ステンレス製無塗装仕上

可動床付潜水訓練用プール(水深10m)



日本食塩製造株式会社

場所 神奈川県

仕様 食塩製造用ステンレス製溶解槽

→プール以外の分野への進出



明石海浜公園屋外プール

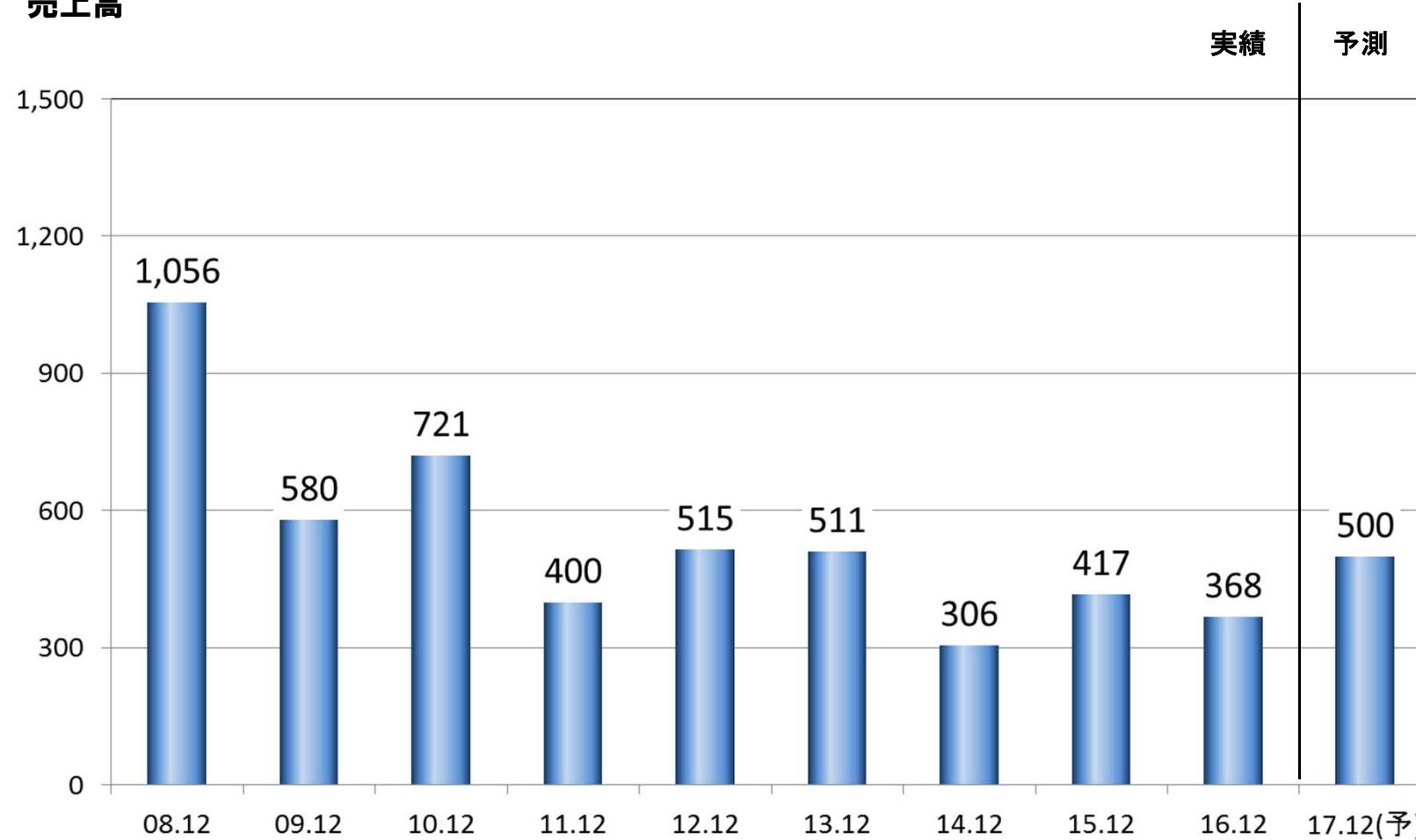
場所 兵庫県明石市

仕様 ステンレス製プール タイル仕上

アクア事業売上高推移

単位:百万円

売上高



アクア事業の今後の方針

- ・ 防災訓練用施設や産業分野での採用など新しい分野の受注増加を目指す
- ・ メンテナンス事業で安定的な収益を確保する
- ・ ドイツ製タイル販売を合わせた営業を本格化

2017年度連結通期予測

【単位:百万円】

	2016年12月期 決算	利益率	2017年通期予測	利益率	増減率
売上高	7,801	—	7,900	—	1.3%
営業利益	1,180	15.1%	900	11.4%	△ 23.7%
経常利益	1,204	15.4%	950	12.0%	△ 21.1%
当期純利益	1,527	19.6%	600	7.6%	△ 60.7%

- 5%以上の経常利益率の維持・継続を経営指標とする
- 2016年12月期は繰延税金資産の計上により、当期純利益額が335百万円増加
- 2017年12月期は繰延税金資産の取り崩しを見込む

【参考】2016年度連結決算概要

【単位:百万円】

	2016年12月期 年初計画値	2016年12月期 決算	増減額
売上高	7,500	7,801	301
営業利益	830	1,180	350
経常利益	850	1,204	354
当期純利益	1,000	1,527	527

- ・ 増収効果に加えて工場の効率化推進によるコストダウンにより各利益とも計画比350百万円増加
- ・ 経常利益の増加及び税効果会計による法人税の調整により当期純利益が計画比527百万円増加

配当推移

年度	配当金額	配当性向
～2009年	配当10円を基本とする	-
2010年～2013年	2010年からの3期連続赤字により配当0円	-
2014年	業績回復により20円まで復配 (普通配当10円+創立50周年記念配当10円)	19.0%
2015年	配当 30円 (中間配当10円+期末配当 20円)	15.4%
2016年	配当 20円 (中間配当10円+期末配当 10円)	11.6%
2017年(予)	配当 20円 (中間配当10円+期末配当 10円)	29.1%



【見通しに関する注意事項】

本資料に掲載されている中で、下期の予測あるいは今後の見通し等が含まれていますが、実際の結果は様々な要因により記述内容と大きく異なる可能性があります。